

令和5年12月14日

令和5年度体力づくり優秀組織表彰の被表彰者を決定しました

スポーツ庁では、このたび、令和5年度体力づくり優秀組織表彰の被表彰者を次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

1. 被表彰組織

文部科学大臣賞（5組織）

① 大館市（秋田県）	② 西脇市（兵庫県）
③ 高野町（和歌山県）	④ 高森町（熊本県）
⑤ 外国運輸金融健康保険組合（東京都）	

体力づくり国民会議議長賞（3組織）

① 松山市（愛媛県）	② 日産自動車健康保険組合（神奈川県）
③ 株式会社明電舎（東京都）	

2. 表彰式

令和6年2月9日（金）に愛媛県県民文化会館（愛媛県松山市）で開催する「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024」において表彰します。

<担当> 健康スポーツ課 電話：03-5253-4111（代表）
課長補佐 菅原 武芳（内線3489）
健康・体力づくり係長 藤谷 元気（内線2998）
健康・体力づくり係 岩原 今日子（内線2998）

令和5年度体力づくり優秀組織表彰の概要

この表彰は、地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力づくり運動）を推進し、顕著な成果を上げている組織を文部科学大臣、体力づくり国民会議議長が表彰することにより、体力づくり運動の普及及び充実を図ることを目的に昭和43年から実施している。

各都道府県教育委員会等から推薦された8組織について、別添概要のとおり、本年度の被表彰組織として決定した。

1. 推薦基準

- ア 体力づくり運動を推進するための、住民（従業員）参加による組織運営が円滑に営まれていること。
- イ 体力づくりに関する実践・啓発・広報活動が積極的に行われていること。
- ウ 体力づくりを実践するクラブ等の育成が積極的に行われていること。
- エ 体力づくり関係施設の提供等が積極的に行われていること。
- オ 過去において体力づくり運動に関する功績により国の表彰を受けていないこと。
- カ 体力づくり国民会議議長賞を受賞し、受賞後原則として3年以上を経過していること。（文部科学大臣賞のみの推薦基準）

2. 表彰式

(1) 日時：令和6年2月9日（金）

生涯スポーツ・体力づくり全国会議2024

「オープニング・表彰式」10時00分～10時35分

(2) 場所：愛媛県県民文化会館（愛媛県松山市道後町2丁目5-1）

※文部科学大臣、体力づくり国民会議議長から、表彰状及び記念品（盾）を贈る。

【参考】体力づくり運動について

昭和39年12月「国民の健康・体力増強対策について」の閣議決定に基づき、健康の増進、体力の増強について国民の自覚を高めるため、推進されている運動。翌40年3月、趣旨の普及・徹底と実践的効果を高めるため、「体力づくり国民会議」が結成された。現在、8府省、211団体から構成され、事務局を文部科学省（スポーツ庁）に置く。

令和5年度体力づくり優秀組織表彰 被表彰組織概要

文部科学大臣賞（5組織）

おおだてし 【大館市】（秋田県）

＜平成3年度体力づくり国民会議議長賞 受賞＞

大館市は、平成3年度を受賞を機に、生涯スポーツへの機運が高まり、大館市が主催する大館市スポーツレクリエーション祭は今年度で32回目を迎えるほか、笹川スポーツ財団主催の全国チャレンジデーには11年連続出場して金賞を受賞するなど、行政・企業・住民がスポーツでつながり、体力づくりに励んでいる。近年は、東京パラリンピック開催に伴うタイ王国ボッチャチームとの交流を契機に、パラスポーツへの関心や障害への理解を高めるため、令和2年度からボッチャ交流会「はちくんオープン」を毎年開催している。また、市内スポーツクラブや商工団体、法人など13団体で構成する「スポーツコミッション大館」を設立し、県内外のトップスポーツ団体と連携して、トップスポーツの大会誘致やトップアスリートによる講習会の開催など、市民がスポーツに触れる機会を創出している。

保健・栄養分野においては、健診受診や健康講座の受講、スポーツイベント等の健康づくりに取り組むと健康ポイントが付与される健康ポイント事業や、働き盛り世代の健康づくりとして企業版の健康ポイント事業「健康づくりチャレンジ事業所認定事業」を実施し、健康づくりに対する関心を高め、生活習慣の改善、健診受診等への動機づけと定着化を図っている。

にしわきし 【西脇市】（兵庫県）

＜平成23年度体力づくり国民会議議長賞 受賞＞

西脇市は、平成23年度を受賞後、市民の健康寿命延伸を目指すため、健幸都市推進課を設立し、「住むことでおのずと健康になるまちづくり」の実現を目指している。令和3年度からは、フレイル予防を中心とした諸事業に取り組んでおり、ICTを活用した「健幸運動教室 Ni-co」や「健幸ポイント事業」を実施している。これらに加えて、健康に関する正しい情報を学んで、身近にいる大切な人に伝える役目を担う「健幸アンバサダー」を令和元年度から養成しており、健康無関心層の取り込みに努めている。

保健・栄養分野においては、市内65か所において「介護予防事業」を実施しており、そのうち35か所では、参加者が週1回自主的に集まって介護予防体操や健康教育、食育などを実践している。これらは「ソーシャルキャピタル」の醸成や体力維持等に効果を発揮している。また、「健幸メニューキャンペーン」では、外食が多い土地柄という特徴を逆手にとって、市の定める基準（主食・主菜・副菜のバランスや野菜摂取量、塩分量など）を満たした外食メニューを認定することで、外食を通じた食育（啓発）に取り組んだ。参加者アンケートで今後の継続実施を望む声が多く寄せられるなど、健康づくりの意識啓発に寄与している。

こうやちょう
【高野町】（和歌山県）

＜平成 30 年度体力づくり国民会議議長賞 受賞＞

高野町は、町の特性を生かし、町民の生活に根ざした取組を行うことで、町民参加による健康増進、体力づくりを推進している。平成 30 年度の受賞以降に「健康長寿のまち」宣言を行い、いつまでも住み慣れたまちで健康に暮らすことを目的に、町民のニーズに対応したスポーツ教室や町民大運動会の実施、フィットネスジムを健康づくりの拠点として地域に定着化させるなど地域における健康づくりの機会の充実を図っている。また、「高野山旗全国学童軟式野球大会」は全国からも多数の参加があり、スポーツの関心を高めるとともに、地域コミュニティを深める機会にもなっている。

保健・栄養分野においては、高血圧予防や栄養の講習会開催、各地区での健康相談を行い、健康に関する正しい知識や意識の定着、普及の向上を図っている。議長賞受賞後は、子育て支援や高齢者支援を充実させるため、子育て支援センターを保健福祉センターから子供が集まるこども園内へ、役場内にあった地域包括支援センターを役場受付横に移転するなどを通じて、町民一人一人の健康づくりに取り組むとともに、近隣の市町と連携しながら、町民参加による健康・体力づくりを推進している。

たかもりまち
【高森町】（熊本県）

＜令和元年度体力づくり国民会議議長賞 受賞＞

高森町は、スポーツを通して町民の心と体の健康を増進し、幸福度を向上させるとともに、町民の交流を促進し、地域を活性化することが重要と考え、「健康で豊かな暮らしを送れる町民総スポーツ社会」を目指している。平成 24 年度に設立し、高森町が運営を一部補助している一般社団法人高 SP0（高森町総合型地域スポーツクラブ）と連携し、スポーツ・文化活動・介護予防活動を通して、町民の健康づくり、体力づくり、仲間づくりを促進する活動を実施している。さらに、プロサッカー J2 リーグ「ロアッソ熊本」、プロバスケットボール B2 リーグ「熊本ヴォルターズ」との連携事業を行う等、子供たちが運動に親しむ環境を年々増加させている。

健康寿命の延伸に向けた取組としては、地域公民館 44 か所で行う「いきいき百歳体操教室」や「ボッチャ大会」、「なんさま体操」を実施する等、高齢者がいきいきと楽しく過ごせる集いの場をつくるための活動は多岐に渡る。さらに、全世帯で視聴可能な高森町情報発信光ケーブル TV「高森ポイントチャンネル」内で「なんさま体操」を毎日 3 回放送し、自宅でも体操ができる環境を提供するなど、介護予防事業の更なる参加者の呼び水となる取組を行っている。

がいこくうんゆきんゆうけんこうほけんくみあい
【外国運輸金融健康保険組合】（健康保険組合連合会）

＜平成 29 年度体力づくり国民会議議長賞 受賞＞

外国運輸金融健康保険組合は、設立当初より「一次予防」に重点を置いて保健事業を推進しており、平成 25 年には、組合員の健康寿命の延伸を目標とした「外国運輸金融健康保険組合ヘルシープラン」（10 カ年計画）を策定し、戦略的に健康づくり対策を展開している。

体力づくり施策としては、昭和 46 年から続き、体育奨励事業のシンボルとして位置付けられている「大運動会」を毎年開催しており、「体力測定」や「血管年齢測定」などのプログラムも導入することで、参加者が自身の体力や状態を把握するなど、ロコモ対策にもつながっている。ほかにも、シニア層の運動促進のための「シニアゴルフ大会」や、簡単な体力測定を取り入れた「ウォークラリー」を開催して、体力の維持・増進を図っている。

また、健康づくり事業の柱として、「わたしの健康づくりチャレンジ」を行っている。この事業は、一人一人が自身の健康づくりのために実行可能な生活習慣改善目標を立てて、1 か月間取り組むプログラムとなっており、生活習慣病の重症化予防等に向けたハイリスク・アプローチを組み合わせながら事業を展開している。

事業の推進体制は、4 名の保健師を中心に、事業所ごとに「健康管理委員」を選出し、健康保険組合と事業所との連携強化を図りながらコラボヘルスを進めている。

体力づくり国民会議議長賞（3組織）

まつやまし 【松山市】（愛媛県）

松山市は、スポーツのある生活を楽しむ人の割合を75%以上にすることを目標に掲げ、昭和38年から開催されている愛媛マラソンや、昭和61年から開催されているトライアスロン中島大会といった、市を代表するスポーツイベントを長年継続して開催し、市民のスポーツ機会の確保、交流人口の拡大を図っている。ほかにも、オリンピックメダリストなどトップアスリートによるクリニック等を開催し、競技力の向上やスポーツ人口の拡大を図ることや、パラスポーツ指導員の育成と障害者スポーツ大会の開催を両輪で進め、共生社会の実現に向けた取組も実践している。また、誰もが安全・安心にスポーツ施設が利用できるよう計画的に公共スポーツ施設の改修や整備を進めている。

保健・栄養分野においては、市民が生涯を通じて自分らしく、いきいきとした健康な生活を送ることを基本理念とした「松山市健康増進計画『健康ぞなもし松山』」を策定し、より一層の生活習慣病予防に向け、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むとともに、市民・地域・行政が一体となって取組を推進している。また、「第3次松山市食育推進計画」を策定し、「楽しく食べて うまいぞなもし」をスローガンに、多種多様な関係団体と連携して食育を推進している。

にっさんじどうしゃけんこうほけんくみあい 【日産自動車健康保険組合】（健康保険組合連合会）

日産自動車健康保険組合では、“日産健保_みんなの健康応援団”をビジョンに掲げ、「安心と信頼の医療保険」「一人一人の健康長寿」「スリムで効率的な事業経営」をミッションに事業を展開している。若年層を対象とした運動・栄養・睡眠の包括的な教育を行う「若年層の健康づくり教室」やスクリーニング該当者を対象に講話や運動指導を行う「運動指導教室」などを実施し、肥満予防をはじめ、けがや転倒、つまずき防止や日中のパフォーマンスの向上、快適な睡眠、健康に関する包括的な施策に取り組んでいる。同組合が母体企業の診療所を運営しており、全従業員を対象とした運動イベント「weekly エクササイズ」やWEB または対面で参加が可能な「運動実践セミナー」などを開催し、運動の機会を提供している。また、継続雇用によってシニア層が増加したため、運動機能低下による労働災害の発生防止に向けたロコモ対策に力を入れている。

体力づくり事業については、全従業員を対象とした、就業前や昼休み等に参加可能なオンラインレッスンを導入している。平成30年からは健康ポータルサイトを導入し、健診結果等のデジタル化や自身の健康年齢を可視化することで、健康リテラシーの向上を図っている。同組合はコラボヘルスによる事業所と健康経営を推進しており、健診結果と医療費データから事業所ごとの健康状態がわかる健康レポートを発行して、健康課題の見える化を図っている。

かぶしきかいしゃめいでんしゃ

【株式会社明電舎】（中央労働災害防止協会）

株式会社明電舎は、健康診断受診、保健指導や疾病予防支援等をはじめ、文化会活動としてスポーツフェスタ等を実施し、従業員の体力づくりを促進している。

さらに、企業行動規準にある「従業員が能力を最大に発揮できる職場環境の実現」並びに明電グループ健康経営宣言「健康は、なにものにも代え難い財産」という思いを全員で共有し、従業員の自発的な健康活動に対する積極的支援のために、平成30年度から健康経営に係る各種体力づくり運動を本格的に進めている。主な取組としては、ラジオ体操や健康保険組合主催の同僚・家族で参加できるチーム戦のウォーキングイベント、各事業所主催のスポーツイベント等を行い、会社を挙げて着実に体力づくり運動を実施している。

保健・栄養分野においては、従業員に対して就業時間中に健康経営セミナーを実施して、心身の健康に関する正しい知識や意識の定着、普及の向上を図るほか、喫煙者の禁煙指導として卒煙プログラムの提供を行っている。